

1 年生 心の学習 その①

性教育

9月8日(火)9日(水)と2日間にわたって性教育を学年全体で学びました。1年生では深く考えずに時々性的な発言がみられました。「人間の性」について学ぶということは「自分の生き方」を考えるきっかけになります。

1日目は人間の誕生について。近年、技術がとても進歩して人間の受精から誕生までの映像を撮影することができます。そ



のDVDを観ながら、自分たちがいかに困難な道のりを経て生まれてき

たかを知りました。

2日目は赤ちゃん体験です。赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいる間にいかに母体が大変だったか、赤ちゃんが生まれてきて抱っこしたらどんな重さかなどを実物と同じような人形を使って体験しました。

人の誕生のことがわかった。これからあんまり保健の時、大切なことだから笑ってはいけないと思った。

感想文から

赤ちゃんの体ができていく所を見ると結構不思議に見えました。

自分が持っている器官が、どのようなしくみをしているか、知れてよかった。私たちが生まれてきたはきせきに近いと思った。

Never Give Up

大阪市立築港中学校

1年
学年だより



No.19
H27.9.15

お母さんががんばってくれたおかげで今のぼくがあるのだと思った。

性教育の勉強をして、命は大切だと思った。命ができるまで難しいと思った。

命ができるということはとても少ない確率で生まれてきたのもキセキで、人それぞれ違うということがわかりました。とてもいい授業だったと思いました。

すごかった。生命のたん生が重いことをいままでいじょうにした。

赤ちゃんの頭が重かった。誕生日は親にとってすごく大切な日なんだと思いました。



ぼくは小学校2年生の時に妹が生まれるところを見たことがあったのでよけいに、深く知ることができた。

1年生 心の学習 その②

道徳（阪本先生の授業から）

性教育に続いて道徳の授業を阪本先生に1組（9月9日）2組（9月11日）していただきました。

題材は背の低いことで悩んでいる中学生の作文をもとに「命」の大切さを考えるものでした。

学校生活の何気ない一言や行動が相手にどんな気持ちを起こさせるのか、どんな出来事がどんな気持ちにつながるのかを考えるのが道徳の時間です。



院内学級の話も交えて阪本先生のお子さんの話もされました。みんな真剣に聞き入っていました。

給食のこさんとうと思った。いやなことがあってもがんばろうと思った。S君がかわろうと思って委員長にりっこうほする勇気がすごいと思った。病気もなくて、学校に通ってふつうに遊んでれるのが幸せだと思った。

感想から

「チビ」や「病気」はなりたくてなったわけじゃない。でもその子たちは一生けん命生きてる。そのことから命の大切さを学んだ。授業からは、知らないうちに人を傷つけることを学んだ。

1年生 心の学習 その③

道徳「江戸しぐさ」

1年生の日頃の言動でささいなことが原因でトラブルになることが少なからずあります。そこで江戸時代に言葉としぐさを使ってお互いに気を遣いながらコミュニケーションをとる方法を知り、現代の教室でのやり取りや電車や公共の場所での言葉の使い方や身のふるまい方を考えました。

1組は北口先生が授業をしました。



いかにも、あやまることのたいせつさをしりました。

2組長峰先生の授業



こんな場合はということで班ごとに考えました。

「順番をぬかされたらどんなしぐさをすればいいか」

「人の迷惑になっていること、わかりますか？大人なんですから交通ルールを守ってください。

色んな授業を通して色んなことを考える習慣をつけてほしいです。